

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原孝彦
幹事 出口達也
会報委員長 佐野彰彦

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2988回例会プログラム

[当年度=14回目；当月=5週目]

2017年（平成29年）10月30日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……四つのテスト
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
※第1四半期皆出席の発表（出席委員会）
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/6) ……
新入会員アワー 寺田 博正 会員
" 中村 育生 会員
(11/13) ……休会
(クラブ定款第8条第1節(c))

2. クラブフォーラム……………〈米山記念奨学委員会〉

- 13:00 卓話 「米山記念奨学寄付について」
地区米山記念奨学委員会
委員 加藤 英樹 様
「報恩 奉仕 繁栄」
米山学友 于 咏 様
(紹介者 關 淳之 会員)
13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言
13:30 16. 散会

出席

会員総数 94名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 8名 出席率 90.80%
前々回(10/16)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 10月7日土曜日、15日土曜日、刈谷小学生サッカー大会（5年生大会）の開会式、閉会式に出席して参りました。



- 2) 10月12日、木曜日、知立・刈谷合同親睦ゴルフ会を新南愛知カントリークラブで開催致しました。刈谷RCゴルフ例会では、室殿豊会員がグロス88、ネット69で優勝されました。合同では、知立RCの陰山尚久会員が優勝されました。
- 3) 10月26日、木曜日、刈谷市国際交流協会役員・幹事会に出席しました。

幹事報告

- 1) 本日、例会終了後、事務局にて第5回理事会を行ないます。関係の会員はご出席をお願い致します。
- 2) 本日、理事会終了後、事務局にて第3回中長期計画委員会を行ないます。関係の会員はご出席をお願い致します。

委員会報告

●社会奉仕委員会

- 1) 刈谷市共同募金委員会（近藤純子会長）より、赤い羽根共同募金のお願いがあります。

米山記念奨学会

吉原 孝彦



今年の7月に財団法人米山記念奨学会は設立50周年を迎えました。

1952年11月、東京 RC の古沢文作会長が米山基金の試案を発表しました。若き日に大志を抱いてアメリカに留学し、実業家として大成してからは向学心に燃える多くの青年に陰ながら援助の手を差し伸べ、晩年には私財を投げ打って児童教育に力を注ぎ、又日本ロータリーの礎を築き、その発展に偉大な足跡を残した故米山梅吉氏の遺徳を記念して、アジア地域より優秀な学生を招いて2年間研究させようというものでした。事業は12月に承認されすぐに寄付を募りました。会員1口千円以上、会員企業からは1口1万円以上の任意寄付でしたが、2年後には約270万円が集まりました。

最初の奨学生はバンコク RC とラングーン RC に候補者の人選をお願いし、タイから25歳のソムチャード・ラタナチャタさんが決まりました。彼は東京大学農学部の研究生となり、修士課程を卒業し、帰国後はタイの蚕糸局に入局し、タイシルクの増産に貢献されました。

もう一人の奨学生は既に東京大学大学院修士課程で水産資源学を学んでいたインド人留学生 P.K. イーベンさんが推薦されました。このことから在日留学生から奨学生を選考する方策が現実的と考えました。

その後もう一人のインド人のロイさんに1年間の奨学金を支給し東京 RC による270万円の米山基金は終了します。

ソムチャードさんとイーベンさんは日本各地のクラブに歓迎され、彼らの行く先々で親善と交流の輪が広がり、米山奨学金事業の全国展開への扉が開かれました。1956年10月第60区（東京以北）年次大会で米山奨学金基金に関する決議がなされ、その翌週に第62区（神奈川～岐阜・三重）で同様の決議がなされました。クラブ単独の事業から多地区合同の事業となりました。

1956年12月から新たな募金活動が始まり、「月にたばこ一箱を節約して」を合言葉に、会員に月額50円の支援を依頼しました。

1957年9月に初の全国組織となる「ロータリー米山奨学委員会」が発足し、初代委員長には東京 RC が RI 復帰した際の会長を務めた小林雅一氏が選ばれました。

卓話 「米山記念奨学寄付について」

地区米山記念奨学委員会
委員 加藤 英樹 様



本日は大変貴重なお時間をいただき、また、米山月間としての卓話の機会をいただき、ありがとうございます。

今日は地区委員としてお話をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

日頃は米山記念奨学事業に対しまして、大変温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

米山奨学金の成り立ちや使命については、もう充分ご存知のことと思ひ、割愛させていただきます。

皆様方もご存知の様に、ロータリー米山記念奨学事業は、最大の民間奨学事業であり、現在、125ヶ国19,808名を超える米山奨学生の支援団体として、日本のロータリーが誇れる民間最大の国際親善事業に発展して参りました。

全国のロータリアンの数は約90,000名（89,833名）であり、全国の奨学生の数が約800名（793人）になりました。

奨学生1名に対して、ロータリアン110名で支えている計算となります。

当2760地区では、ロータリアンの数は約4,800名（4,835名）であり米山奨学生の数は当年度49名になりました。

奨学生1名に対して、ロータリアン100名で支えている計算となります。ちなみに次年度も49名となっております。

米山の使命として、「将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する」とあるように、奨学生の経済的状况等は選考基準の多くの部分を占めておりません。

ではここで、皆さんからいただいた寄付金はどう使われているのかご説明したいと思います。簡単な決算でありますがお報告をさせていただきます。

総収入14億7千万円に対して、奨学金と補助費で13億円の支出をしており、総収入の88.1%を占めております。

皆様からの普通寄付・特別寄付13億7千万円に対しては、その95%が奨学生に使われている状況です。

管理費6,700万円は、利子収入の5,000万円で購入しております。

利子収入を得る債権は国債と社債で運用されており、ローリスク、ローリターンです。ただし、利子収入は利率が低いので、毎年減っています。

寄付金の推移につきましては1996年をピークに徐々に減り続けております。

2016年度の個人平均寄付額の表ですが、当2760地区は昨年度の44,399円より14,567円と大幅に減少しております。14年が17,910円15年が20,812円ですのでいずれの年度よりも減少しております。

皆様ご存知のように過去には特別な理由もございますが、今一度努力すべき時なのかもしれません。

2016年度の特別寄付者割合です。当地区は29.9%と全国平均の43.2%よりかなり低いところにあります。

なぜここで特別寄付のお話をするかといいますと、このように奨学生数の決定に特別寄付割合も10%加味されることになったからです。

当2760地区においては一人当たりの寄付金額を20,000円にしていきたいと考えています。★特別寄付金一人当たり20,000円を目標としております。

ここで今一度復習のようで申し訳ありませんが、普通寄付・特別寄付の説明をさせていただきます。

寄付金には《普通》と《特別》の2種類あります。本日配布した《豆辞典9ページ》を参考にして下さい。

①青色の《普通》寄付金

日本の全ロータリアンからの定期寄付で、各クラブで決定した金額×会員数分を、半期に1度、ご送金いただいています。

所属クラブ事務局から、会費（上期・下期）として請求されます。寄付金を支払っているという感覚がないかもしれません。

②赤色の《特別》寄付金

個人、法人、またはクラブから、《普通寄付金》とは別に、任意で自らプラスアルファでいただく寄付金です。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けします。金額に決まりはありません。いつでも、いくらからでもご送金いただけます。

寄付しやすくなっています。特別寄付金の金額は単年度打ち切りではなく、いくらやって頂いても、累計額で積み上がっていきます。

ここで改めて功労者・功労法人への表彰制度についてご説明いたします。

①個人への表彰（特別寄付金の累計額が対象です）

累計額3万円から表彰されます。

②法人への表彰（特別寄付金の累計額が対象です）

累計額5万円から表彰されます。

③クラブへの表彰

(1) 普通寄付金と特別寄付金の累計額が1,000万円毎に表彰されます。

(2) 2760地区独自のものとしては、クラブでの特別寄付金一人当たり20,000円、特別寄付率が80%を達成した場合は、ガバナー賞がもらえます。

ここで税制上の優遇措置についてご説明いたします。

米山記念奨学会は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、寄付金は個人、法人ともの税制の優遇が受けられます。国が行うべきことを民間団体が行っているため、税制の優遇が受けられます。

①個人が特別寄付をした場合

「税額控除」または「所得控除」が受けられます ⇒ 所得税・住民税（市県民税）が減額されます。

②法人が特別寄付をした場合

経費になることにより、法人税・法人市県民税・法人事業税額が軽減されます。

名古屋大学の藤川清史教授がビデオの中でお話されていることですが、私費留学生と国費留学生では経済的に格差があります。加えて文科省や JICA の奨学金制度は他の社会と付き合うことをむしろ遠ざけている格好です。勉強だけしてくれとでも言うように。

しかし本来の奨学金制度は日本のファンを作ることです。他の社会との交流を促進しないところで日本ファンはできませんよ。

特に我々は英語で授業をしていますから、彼らは日本語も覚えなくていい。それはあまり良くないです。

米山奨学金のように日本の社会や伝統文化にも接点を持つような奨学金制度は非常にありがたい。

まさに日本政府がやらなければならないことを民間の機関がやって、日本ファンを海外に作るということは ODA 以上に意味があると私は考えます。

スリランカ出身のホラゴパラバードジーワンさんのお話

この米山奨学金は返さなくてもいい奨学金ですが、実は私にとっては返さなければならないです。お金じゃなくて良い人になって、自分も誰かを支えられるような人間に、周りの人を幸せにできるようになることで恩返ししたいです。

今後とも奨学事業のご理解とご協力を頂ければ、幸いです。

以上で、私の話を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

クラブフォーラム

卓話 「報恩 奉仕 繁栄」

米山学友（親善大使） 于 咏 様



ロータリー米山と出会い

Thanks to Rotary

😊 成長しました! 😊

米山記念奨学金 月14万円 = 月間140時間の自由時間

滴水之恩 湧泉相報

氏名	国籍	大学/世話クラブ	寄付額
姫 軍	中国	東京大学大学院 東京臨海RC 1995-1997	2007年~ 50万円/年 累計: 5,000,000円
張 虞安	中国	近畿大学大学院 交野RC 1998-2000	生涯1,000万円寄付が目標 累計: 1,640,000円
清野 允中	台湾	名古屋工業大学大学院 江南RC 1990-1992 愛知ロータリーEクラブ会員	2009年~ 1万円/月 累計: 1,000,000円

米山学友からの寄付は、総額3,000万円を超えました!

Rotary Yoneyama Memorial Foudation

日本と世界を結ぶ人づくり

www.rotary-yoneyama.org

ロータリー米山記念奨学公益財団設立50周年

親善大使としての活動

- 2015年11月 RID2630(岐阜・三重) 地区大会
- 2015年12月 ロータリー研究会
- 2016年3月 RID2730(鹿児島) PETS
- 2016年4月 RID2740(長崎) 地区米山研修会
- 2016年5月 RI世界大会(ソウル)
- 2016年8月 RID2600(長野) 地区米山セミナー
- 2017年2月 RID2580(東京) 米山奨学期間終了式
- 2017年3月 RID2740(長崎) IM
- 2017年2月 RID2600(長野) IM
- 2017年3月 RID2500(北海道) PETS
- 2017年4月 RID2680(神戸) 地区研修協議会
- 2017年8月 RID2530(福島) 地区米山セミナー
- 2017年11月 RID2660(大阪) 地区大会
- 2017年11月 RID2800(山形) 地区大会
- 2018年2月 RID2600(長野) IM

民間最大の国際奨学事業

年間**793人** **125**ヶ国・地域 累計**19,808人**

報恩・奉仕・繁栄

- 報恩: 恩を知る、感謝の気持ちを持って、恩返しをする。
- 奉仕: 職業を通じて、人々のため、社会のためになる。
- 繁栄: 報恩と奉仕を実践することによって、自分、会社、社会の繁栄を目指す。

恩をかたちに

- **台湾学友会** - 台湾に留学する日本人学生に奨学金を支給
- **韓国学友会** - 米山学友だけの衛星クラブを設立
韓国に留学する日本人学生に奨学金制度を開始
- **中国学友会** - 貧困地区の小学校に図書などを寄贈
- **タイ学友会** - 海岸清掃、養護施設支援、熊本震災義捐金
- **ネパール学友会** - ネパール大地震で被災した子供へ教育支援
- **モンゴル学友会** - 日本人墓地での植樹
日本の「家庭の医学」を翻訳し、配布

人間の生きる目的

- 自ら成長すること
- 人々に尽くすこと
- ロータリーはその集大成である

ロータリークラブを発足

- **台北東海RC(第3480地区)**
加盟承認: 1995年1月31日 * 公用語は日本語
- **台中文心RC(第3460地区)**
加盟承認: 2007年3月16日 * 公用語は中国語
- **東京米山友愛RC(第2750地区)**
加盟承認: 2010年3月16日
- **東京米山ロータリーEクラブ2750(第2750地区)**
加盟承認: 2012年6月21日 * ネット上で例会を行う
- **さいたま大空RC(第2770地区)**
加盟承認: 2013年11月25日

刈谷 RC10月度ゴルフ例会（刈谷・知立合同）

平成29年10月12日(木)

於：新南愛知カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	室殿 豊	88	19	69
2位	塚本 幸夫	88	13	75
3位	佐野 彰彦	89	14	75
B B	小川 耕示	120	25	95



第 5 回 理 事 会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
 - 1. 11・12月のプログラム（案）について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈プログラム委員長〉
 - 2. クリスマス家族会について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈親睦活動委員長〉
 - 3. 新入会員について
 - 〈幹 事〉
 - 4. 健康診断について
 - 〈職業奉仕委員長〉
 - 5. 第1回アジア子ども絵画展について
 - 〈国際奉仕委員長〉
 - 6. 刈谷市民管弦楽団第34回定期演奏会後援名義について
 - 〈社会奉仕委員長〉
 - 7. 植樹事業について
 - 〈幹 事〉
 - 8. 次年度指名委員について
 - 〈幹 事〉
 - 9. 米山記念奨学委員長の理事への推薦について
 - 〈会長エレクト〉
 - 10. 65周年準備委員会組織（案）について
 - 〈会長エレクト〉
 - 11. その他
- III 会場監督の所見